

井川町教育委員会 7月定例会会議録

1. 日 時 令和3年7月26日(月) 午後1時30分～2時40分

2. 場 所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	幡宮明貞

4. 欠席委員

なし

5. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局主事	石川知里

6. 会議

(1) 議案

①議案第22号 令和4年度中学校教科用図書採択について

(2) 報告事項

①教員の勤務時間超過に係るヒアリング状況について

②第二回井川町学校応援協議会について

③夏休み体験事業について

④令和3年度井川町二十歳の集いについて

⑤全県中学校総体等の結果について

⑥教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

(3) その他

7. 情報交換

8. 会議の経過

- 事務局長 今定例会の議事録署名員に小武海委員、遠藤委員を提案。
(全員提案を了承)
- 教育長 議案第22号令和4年度中学校教科用図書採択について事務局に説明を求める。
- 事務局長 (令和4年度使用中学校歴史の教科書について、新たに文科省の検定を経て発行となる教科書があることから、再度採択を行うこととなった。)
- 教育長 事務局案のとおり承認してよろしいか。
- 全員 異議なし。
- 教育長 議案第22号は承認されました。つづいて報告事項に移る。学校への指示事項等について説明する。(学校徴収金や謝金の管理について、学校評価の目標と評価項目の設定について、今年度の課題への対応について)
- 委員 9年生の修学旅行のサプライズ花火にかかった経費の支払いはどのようなになったのか。
- 事務局長 修学旅行費の積み立てから支出されている。
- 委員 コロナ禍によって修学旅行の計画を立てるスケジュールがタイトになってしまい、連絡が遅くなったこともあるかもしれないが、書面での事前連絡でもあればよかった。
- 教育長 花火については子ども達へのサプライズということもあって保護者へ事前に知らせることはなかった。主に担当の先生と業者間でのみ進められたようだ。
- 委員 たいていは担当と校長の間で計画を詰め、最終的に校長が判断をする。組織として機能しているか心配なところである。
- 委員 修学旅行の体験学習での経費負担の不平等など、他の学校で同じようにしているからといって疑問を持たれずにそのままスルーされてしまったことにも驚いた。
- 教育長 もしかしたら学校では大した負担ではないと思っているのかも知れない。しかしそういったところを上が正していかないといけない。そういったチェック機能が働いているかどうか見ていかないといけないと思っている。
- 委員 原因は管理職の問題なのか、ベテランの先生達が多いこともあって、自分の判断で決めてしまっているからなのか。
- 委員 教育委員会は学校を指導・管理する関係にあると思うが、一方、だからといってガンガン言って良くなるわけではない。
- 委員 不登校の原因について、先月の会議で6年生から中学校に進学す

る際に経験する壁を経験して乗り越えるから中学校生活が続くが、井川義務教育学校にはそれがないから不登校が増えているという話があった。先生たちが自分たちではなく周りの環境などに原因を求めているような気がする。

教育長 今後学校訪問もあるので色々と協議を通して学校とも議論していきたい。

教育長 次に、教員の勤務時間超過に係るヒアリング状況について事務局に説明を求める。

事務局長 (該当教員に対するヒアリング結果について説明。)

教育長 全県の平均と比べると、小・中ともに下回っている。しかし去年よりも超過時間が増えている。

委員 今までやっていたからやめられない仕事の色々とあると思うが、どこかで割り切って捨てることを捨てないとどんどん仕事が増えていってしまう。

教育長 次に、③夏休み体験事業について事務局に説明を求める。

事務局長 (日本海体験、動物ふれあい体験会、異文化体験会について説明)

教育長 続いて、④令和3年度井川町二十歳の集いについて事務局に説明を求める。

事務局長 (8月15日にコロナウイルス感染症対策を講じながら予定どおり開催する)

教育長 ⑤全県中学校総体等の結果について事務局に説明を求める。

事務局長 (全県中学校総体等の結果について説明)

教育長 次に、⑥教育委員会・公民館・学校関係行事予定について事務局に説明を求める。

事務局長 (教育委員会・公民館・学校関係行事予定について説明)

教育長 (他に無いことを確認して定例会を終了)